



データでみる福島再生

最近の動き

○除染等工事の進捗状況

- これまで、双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村、葛尾村が特定復興再生拠点区域として計画・認定され、家屋等の解体・除染等を実施し、概ね完了したことをうけ、令和5年5月1日までに全ての町村※において、避難指示が解除されました。

※富岡町の点・線拠点については、別途協議のうえ避難指示が解除される見通し

○除染仮置場等の状況（福島県内）

- 仮置場等総数1,372箇所のうち、23箇所では除去土壌等を保管中、1,349箇所では搬出が完了し、1,181箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

○中間貯蔵施設の整備の現状

- 除去土壌の分別処理を行い、8月末時点で、約1177.3万 m^3 （輸送量ベース）の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。
- 廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、8月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器20,416個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- 2023年8月末時点で、約1,358万 m^3 の除去土壌等（帰還困難区域を含む）を中間貯蔵施設へ搬入しました。

○中間貯蔵施設用地の状況

- 用地取得については、8月末時点で契約者数1,865人、面積約1,287haについて契約しております。

○国直轄による対策地域内廃棄物等の処理進捗状況

- 災害廃棄物等の仮置場への搬入については、7月末時点で、約336万トンの搬入を完了しました（うち、約58万トンが焼却処理済、約231万トンが再生利用済）。
- 被災家屋等について、7月末時点で、約18,500件の解体申請を受付済であり、約17,700件を解体済です。

○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の設置状況

- 7月末時点で、約146万トン（除染廃棄物を含む）を各仮設焼却施設で処理しました。

○**特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況**

- ・8月末時点で、289,767袋を特定廃棄物埋立処分施設へ搬入しました。

○**クリーンセンターふたばの埋立状況**

- ・8月27日時点で、2,020袋をクリーンセンターふたばに埋め立てました。

○**放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況（8月実施）**

- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターにおいて、研修会を1回、専門家派遣を5回、住民セミナーを3回、車座意見交換会を3回実施しました。
- ・環境再生プラザにおいて、専門家派遣を3回、移動展示を2回（3日）実施しました。
- ・内部被ばく検査（WBC）を9日間実施しました。
- ・ガンマカメラを活用した放射線測定は実施がありませんでした。

○**帰還困難区域等における鳥獣の捕獲状況**

- ・今年度の捕獲数は、8月末現在でイノシシ235頭、アライグマ161頭、ハクビシン50頭となっています。